

殿

要 望 書



一般社団法人
富山県建設業協会

研修会（情報共有システム）の共同開催について

平素から、富山県建設業協会に対しまして、格別のご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

建設業は、生活の基盤を支える社会資本整備や維持管理の担い手として、また地域の安全安心の守り手として、重要な役割を担っています。

しかしながら、長年にわたる公共投資の削減によるダンピング受注等により、現場の技術者の処遇悪化や若年入職者の減少による人手不足等が深刻化しており、地域によっては、災害対応や道路除雪などの役割を果たすことが難しくなってきました。

今後も、地域を支える建設業が健全な企業経営のもと、技術・技能の継承を図り、地域に貢献できるよう格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

さて、「情報共有システム（ASP）」は、受発注者間において現場における相互の合意形成を正確かつ迅速に行うとともに、書類の提出や書類管理に要する時間の軽減など、現場の生産性向上のみならず、技術者の労働時間短縮など処遇改善にもつながると考えております。

このシステムの活用を高めるには、研修会などに受発注者双方が参加し、システム操作への理解や習熟度を高めていくことが重要であることから、研修会などの共同開催に特段のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。

平成30年9月13日

一般社団法人 富山県建設業協会

会長 竹内 茂